

～富山県立大学からのご案内～

「卒業論文テーマ」の募集

地域の企業、団体の皆様から研究ニーズを募集し、学生が卒業論文（または、修士論文）テーマとして研究します。

本学に蓄積された技術ノウハウや新技術シーズを、技術課題解決や実用化の見極め手段として活用してみませんか。

●応募期間：平成21年2月27日（金）まで

まず、富山県立大学へ
ご相談ください。

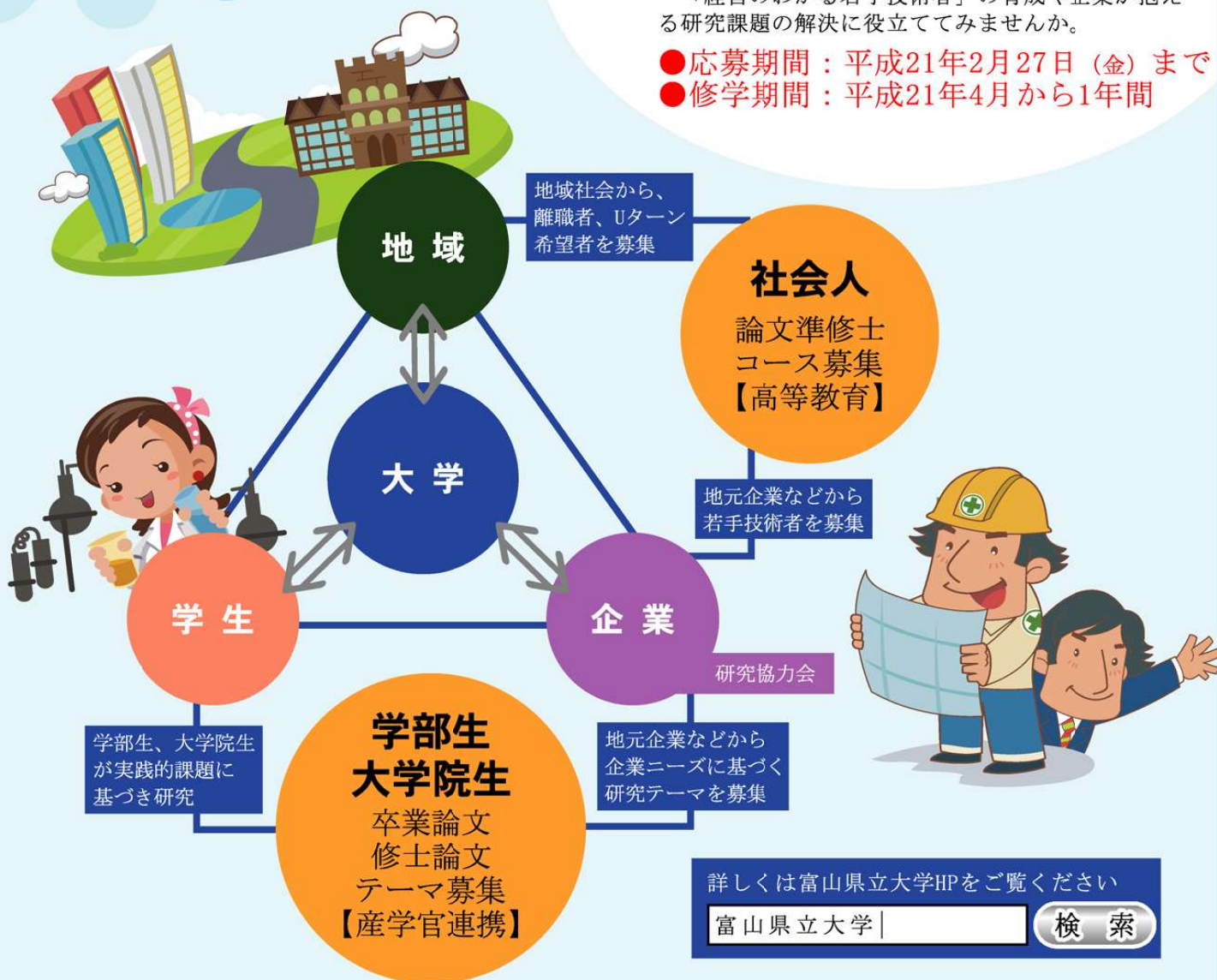
大学院研究生 「論文準修士コース」のご案内

若手技術者が1年間、企業で働きながら、高度な研究開発能力と企業経営に必要なMOT（技術経営）などの専門的な知識を修得するための制度です。

「経営のわかる若手技術者」の育成や企業が抱える研究課題の解決に役立ててみませんか。

●応募期間：平成21年2月27日（金）まで

●修学期間：平成21年4月から1年間



【編集・発行】富山県立大学研究協力会事務局（富山県立大学地域連携センター内）

〒939-0398 富山県射水市黒河5180 TEL:0766-56-0604 FAX:0766-56-0391
E-MAIL: tpu-liaison@pu-toyama.ac.jp URL: http://www.pu-toyama.ac.jp/kyouryokukai/

Techno Times

2008.12

富山県立大学研究協力会 会報

NO.007



写真左より、中尾前研究協力会会長 田中富山県立大学長 田中研究協力会会長

本年6月の総会において、田中一郎 田中精密工業株式会社社長が研究協力会の会長に選任されました。今回、中尾哲雄 前協力会会長を交え、田中正人 富山県立大学長との対談が行なわれました。

～産学連携の更なる活性化を目指して～

田中学長

田中会長、6月の会長就任より半年近く経過いたしました。現在の心境や今後の構想などをお聞かせください。

田中会長

私は、富山県中小企業団体中央会の会長を6年間務めました。そこで感じたのは、以前と比較して中小企業の経営者や技術者の方々が、「学」に親近感を持ってなくなっているように思いました。中小企業はテーマの内容が小さい分、大学に相談するのを躊躇しているのではないかと考えており、私が研究協力会の会長になるにあたり、大学の方から中小企業のテーマを探る形で訪問して頂きたいと考えています。その中で、成功事例を作りながら、中小企業の皆様に目を向けて頂きたいと思っています。

重要なのは、産学官が一致団結して協力し、モノづくりに向かう必要があるということです。私は、モノを作るばかりがモノづくりではないと考えます。

田中学長

大学は「敷居が高い」と言われますが、富山県立大学には門も敷居もありません。(笑) 地域連携センターを研究協力会の拠点として様々な企業と繋がりを持って取り組んでいるのですが、もう少し気軽に企業が大学に来てくださる方法や教員が企業を訪問出来る方

法を考えています。私は学長に就任して一年程、教員が非常に忙しい状況にあることを実感しており、教員の仕事を何とか減らさないと、関心のある企業があっても見学に足を運ぼうという考えが出てこないのではないかと考えています。

中尾前会長

お互いが親近感を持てる場を作る必要がありますね。お酒を飲みながら懇談する機会も大切だと思います。(笑)

田中学長

人間のネットワークが一番肝心だと思います。大学と企業との付き合いは個人的な付き合いから積み上げていくのが望ましいのではないのでしょうか。

田中会長

親近感が高まると中小企業も大学に足を向けやすくなりますからね。

今まではお互いとても忙しい状況にありましたが、これからは不況の影響もあって企業を取り巻く環境が確実に変化します。中小企業はこれを後ろ向きに捉えるよりも、これはチャンスだと思って足元を固める積極的な行動をして頂ければと考えています。ぜひ会員企業の皆様方にも、大学にお問い合わせを頂きたいと思っています。

富山県立大学と研究協力会の発展のために

(ページ2に続く→)